

スーダングラス

…三

苜蓿科のラデノクローバーと共に早春播いね牧草として推奨したいのは何と云ってもスーダングラスである。スーダングラスは北は北海道から南は九州まで全国到る所に栽培可能であるが、特に暖地における集約的な栽培を行う青刈用として、しかも早春播種できる唯一のもので、暖地では一年間に四―五回にわたつて刈取が可能で、その反当生産量は七、八千貫から一萬貫にも及ぶので、俗に一万貫取草の異名がある。これはモロコシの一種で、強い根から無数の分蘖をし、草丈は六―七尺にも達するが風害にも強く、且つ耐旱性が特に強いことが特徴である。また土壌を選ぶことが少なく、瘠地でもよく生育し、酸性、アルカリ性いずれにも強く、火山灰地にもよい。ただ冷湿地に播けば失敗する。昨二十九年は全国的にスーダングラスの生育が芳しくなかつたようにきいて濃霧や「ツユ」の期間が長かつたためと思われ、且つ特に心配することは無いと思う。

スーダングラスは稚苗時は低温に弱いし霜害にも弱いが必要である。すなわち寒地では五月下旬―六月上旬、暖地では四月中下旬播きが多い。反当肥料成分を吸収する率が多から基肥を多く施し、刈取毎に人糞尿や牛尿等を追肥することが望ましい。また稚苗時は雑草に弱いので、雑草の少ない畑に播くことも心掛けねばならない一つである。なおスーダングラスの飼料価値特に蛋白質を増す方法として大葉つる豆や青刈大豆、カウピー等を混播することが賢明な方法である。



スーダングラスの生育状況

蛋白質飼料源の確保は、どうすべきか

…四

永年牧草としてルーサンを!!
一年生では新作物大葉つる豆を!!

牧草類はそれぞれ何かいいところを持つているから、その特性を活用することに工夫をこらせばよいことになる。これからの日本人の生活文化は、蛋白質と脂肪の文化であると同様に、酪農経営の安定は、蛋白質飼料源の確保を如何にするかに懸つておると言つても過言ではない。従来粗飼料として一般に用いられた牧草その他の飼料作物はこの点で満ち足りぬものがあり、したがつてこの不足蛋白質は総べて購入飼料によつて補なされてゐた。その事が牛乳の生産コストが高くする原因をなしてゐるのである。しかも蛋白質飼料の原料は殆ど海外からの輸入に仰ぐ現況においては、市場価格の変動も激しいため、計画的に安価な飼料を豊富に供給することは困難となる。そこで最も手近かな方法がある。それは牧草の王ルーサンと驚異的新作物「大葉つる豆」の栽培である。

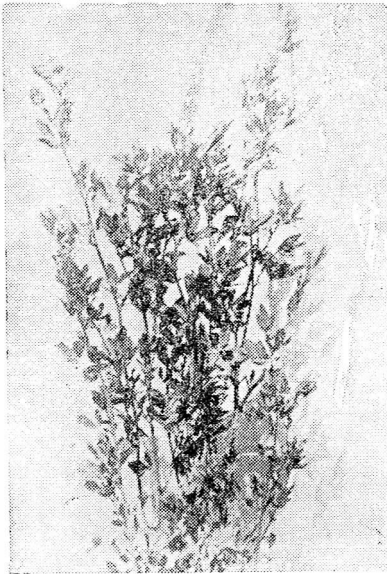
ルーサンは世界で最も古くから赤クローバーと共に利用される。その豊産で飼料価値の高いことで夙に知られてゐる永年性のまめ科牧草である。ルーサンの特筆すべき優れた点は、
1 蛋白質、ビタミン、石灰分の含量が多い。
2 耐旱性、耐暑性が非常に強い。
3 生長速度及び再生力が旺盛で早春の萌芽が早い。
4 根の伸長量大なるため緑肥効果が多く、深く土中の肥料分を吸収して耕土に還元してくれる。また多年性であるから利用年限が長い。

などの諸点を挙げる事ができるが、飼料成分の高いことは濃厚飼料にも匹敵するぐらいで、一般には青刈用あるいは牧放用として利用するのが適當であるが、乾燥地帯では良好な乾草に調整して粉末とし、配合飼料に混じて給与するときは冬期間の緑飼として効果的である。

次にルーサンの栽培利用上留意すべき主な事柄について述べることにしたい。まず土地は地下水の低い有機質に富んだ乾燥地がよく、酸性地は好まないから石灰を十分施すことが必要である。また初めての土地では根瘤菌を接種することが必要である。単播で赤クローバーと交互に刈取する方法と、他の禾本科牧草と混播して、飼料配合の面で有利な利用法とがある。混播の場合アメリカでは一般にブroomグラスとの組合せが多い。一番刈は開花始がよく、刈取回数は寒地では三―四回、暖地では六―八回刈ることができ、反当生産量が多いので毎年牛尿等を追肥することを忘れてはならない。

大葉つる豆!! これは正にルーサンと並んで蛋白質飼料源の一年生作物として取上げねばならぬ、唯一無二のものであら

大葉つる豆は今から約十年前前田博士が野生のつる豆に着目し、その性状、成分等について調査したところ、極めて有望なことを認め、爾來研究を重ね品種改良に努力せられた結果、特に優秀な品種の育成に成功されたもので、近年ようやく識者間に関心をもちたてられたものである。一年生の蔓性で葉は大豆と略同様である。その飼料成分と肥料成分はいずれも赤クローバー、レンゲ、ベッチ等に優つてゐる他、乳牛の嗜好も大変によい。蛋白質含量が多いので、デントコーンに間作しても伸びるので、これをデントコーンと一緒にエンシレージとしてサイロに切込む時は、非常に栄養価値の高いエンシレージができる。またスーダングラスやパールミレット、ソルギー等と混播するのも一つの方法である。



ナールトサンの莖葉

デントコーンに間作した大葉つるまめ

